

菅田中学校だより

令和8年(2026) 9 月

「互いを認め合い幸せをつくる」 <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

「忘れたところにやってくるもの」と「忘れてはいけないもの」

副校長 宇津 俊雄

7月28日(火)16:27。熊本県でマグニチュード7.1、最大震度7を観測する「令和8年熊本地震」が発生しました。熊本県では今から10年前の2016年にも最大震度7を観測する地震が起きており、10年前の地震からようやく復興を成し遂げつつあったところで再びの大きな災害の発生でした。さらに、8月13日(木)には千葉県で線状降水帯が発生し、千葉市での24時間降水量が360ミリを超えるなど、これまでに経験したことのないような豪雨に見舞われました。川の氾濫や冠水が起こり、水に浸かって立ち往生した車に人が取り残されてしまうなど甚大な被害があり、「令和8年千葉豪雨」と命名される大災害になりました。今夏のこの2つの大きな災害によって命を失った方が多くいらっしゃいます。心より哀悼の意を表したいと思います。

「災害は忘れたところにやってくる」という言葉があります。これは、災害がいつやってきてもいいように、日頃から備えておかねばいけないという戒めの言葉です。私たちが生きている現代においてはどんな災害も、もはや対岸の火事ではなく、近い将来自分が直面するかもしれない身近な出来事になりつつあります。だからこそ、「学校にいる時には」「家にいる時には」「出かけている時には」など具体的な場面を想定するとともに、「地震の時は」「火事の時は」「大雨の時は」と、災害の種類によってもどのように行動すればよいのか必要な知識を身に付けておく必要があります。自分の身は自分で守るように行動することが必要である、そんなことを考えずにいられない令和8年の夏でした。

テレビなどのメディアでもこの2つの災害のことを大きく取り上げて報道していました。その中で違和感があったのは、千葉の豪雨災害が起こった後、熊本の地震のことがあまり報じられなくなったことです。被災地では、被災されて厳しい生活を送ってつらい思いをしている人たちが未だにいらっしゃるのです。私たちは、目の前に見えていることには意識が及びますが、自分の目に入ってこなくなると意識が薄らいでしまいます。でも、自分の目の前にないだけで、見えないところでは苦しさが続いているのです。今夏の2つの災害とそこで苦しい思いをしている人がいることは「忘れてはいけないもの」なのではないかと改めて感じます。「忘れてはいけないもの」があることに気付き、それを教訓として自分の立場で何ができるかを考えることが大切です。

防災について考える機会として菅田中学校では、8月28日に総合防災訓練を、9月26日には「防災DAY」を行い、地域の一員として災害の時に何ができるのかを学習していきます。これらの学びを通して得た知識が、いざという時に自分の身を助けてくれます。今夏の「忘れてはいけないもの」を記憶に刻んで、「忘れたところにやってくる」かもしれない災害に備えていける私たち一人ひとりでありたいと思います。

この2つの大きな災害の間でしたが、菅田中学校にとってうれしいニュースがありました。8月12日(水)に横浜みなとみらいホールで行われた第75回神奈川県吹奏楽コンクールの中学校B編成の部において、菅田中学校吹奏楽部が見事、金賞および最高賞である朝日新聞社賞を受賞しました。県コンクールでは、顧問の池永先生の指揮によって迫力と厚みのあるサウンドが引き出された最高の演奏を響かせてくれました。9月19日(土)に千葉市にて行われる東関東吹奏楽コンクールに出場します。吹奏楽部の皆さんには、これまで積み重ねてきた練習と努力の成果の集大成としての演奏を、東関東大会でも披露してくれることを願っています。

【吹奏楽部】夏の大会のご報告

この夏、菅田中学校吹奏楽部が横浜みなとみらいホールで開催された横浜吹奏楽コンクールにおいて金賞を受賞し、横浜市の代表として神奈川県吹奏楽コンクール（県大会）に推薦されました。

昨年度、17年ぶりに進んだ県大会では、緊張や不安の中、日々の努力を精一杯に音に込めた快演だったと感じておりますが、結果として銅賞を受賞し、県の高い壁を感じました。

今年度のはじめ、「県大会で（県大会第一位に贈られる）朝日新聞社賞を獲って、東関東大会に出場する」という大きな、明快な目標をみんなで掲げました。

演奏する曲はフィリップ・スパーク作曲の「ドラゴンの年」という、高校生やプロでもなかなか手が出せない、数ある吹奏楽曲の中でもトップクラスの超難曲に挑みました。そんな曲を自分たちの音楽にするために、基礎の基礎から見直し、時には涙を流しながら練習を重ねました。自分たちの力だけの成長に限界を感じ、他校との合同練習も行いました。他校の練習や考え方など、良いと思ったものは積極的に自分たちの練習に取り入れ、「菅中吹奏楽部」として変わらないために、変わり続けてきました。

そうして迎えた神奈川県吹奏楽コンクールでは、私たちの今の全力を出し切ることができた演奏でした。結果発表では夢にまでみた朝日新聞社賞の受賞に、驚きと、喜びに満ちた涙をみんなで流しました。目標を掲げ、突き進み、叶えたこと、この経験は大きな自信になり、さらなる躍進を予感しています。

次なる大会は9月19日に千葉県で行われる東関東大会です。神奈川県代表として、これからも部員一丸となり、聴いてくださる皆様が心から感動できる音楽を目指して頑張ります。

吹奏楽部顧問一同



7月3日に行われた生徒総会について

今年度の生徒総会では、暑さ対策の観点からオンラインでの開催となりました。久しぶりのオンラインでの開催となりましたが、生徒会本部をはじめ、一丸となって準備、運営に取り組みました。

当日は昨年度の生徒会活動の報告や今年度の活動方針、各委員会の活動計画、予算案について全校生徒で審議を行いました。生徒会本部からは、新入生を迎える会や体育祭、生徒会選挙、3年生を送る会などの行事運営について報告がありました。また、今年度は「採花汲水（さいかきすい）」をテーマに、誰もが安心して過ごせる学校づくりや、地域から信頼される学校を目指して活動していく方針が示されました。

各委員会からは、それぞれの年間目標や活動計画が発表されました。学校生活の向上に向けた取組や行事の運営、生徒の健康や環境美化に関する活動などについて説明があり、生徒からの質問や要望に対して委員会や生徒会本部が回答しました。特に、自動販売機の利用方法や図書室の環境改善、体育祭の種目などについて活発な意見交換が行われました。

また、生徒会費の決算報告と今年度の予算案についても審議され、承認されました。今回の生徒総会を通して、生徒一人一人が学校生活について考え、自分たちの学校をよりよくしていこうとする意識を高めることができました。

生徒会担当